

富山大学附属病院
看護部(社会人5年目)
【取材日：2025.6.30】



現在のお仕事について教えてください

富山大学附属病院で産婦人科・形成外科病棟の看護師をしています。主に婦人科がん、婦人科疾患の患者さんや、形成外科で手術される患者さんのケアを行っています。

富山大学で学ぶきっかけ

両親が医療系の仕事に就いていて、漠然と医療の道に進みたいと考えていました。進路選択のタイミングで看護師をしている母から仕事のやりがいについて話を聞く機会がありました。患者さんに寄り添えるような看護師になり、地域に貢献したいと思い、富山大学医学部の看護学科へ進学を決めました。

先輩・後輩のつながり

大学入学後、準硬式野球部のマネージャーをしていました。チームを支える経験を通じて、相手を思いやり行動することの大切さを学びました。職場の病院内で同期、先輩後輩に会う機会が多いのも、学生時代に得た繋がりのおかげで、安心して働くことが出来ます。

Profile

富山県出身。片山学園中学・高等学校卒業。
2015年、富山大学医学部看護学科に入学。
2019年、医学薬学教育部（博士前期課程）に進学し、感染看護学に関する研究に取り組む。2021年4月より、富山大学附属病院に看護師として就職。第一内科に3年半勤めたのち、現在、産婦人科・形成外科病棟に勤務。

富山大学で得たものは何ですか

大学院時代、コロナ禍で研究が進まず苦労しました。制限が多い中、どうすれば研究の成果を出すことができるか考え続けました。試行錯誤を繰り返し、先生方にサポートいただき、成果に繋げました。看護現場で問題に直面したとき、「どう対処すれば良いか」を考えることの基礎になっています。

富山大学の魅力

富山大学看護学科では、看護師・保健師・助産師の受験資格を4年間で取得可能です。医学科、薬学部との合同講義や演習があります。グループワークを行う機会が多いので、チーム医療の心得を学ぶことができます。「和漢医薬学入門」という授業では、東洋医学について学ぶことができます。

高校生へのメッセージ

勉強や実習など大変なこともありましたが、同じ目標を持つ仲間から刺激をもらい、お互いに切磋琢磨することができました。皆さんにも、興味のあることに進んでチャレンジして欲しいです。